

会 員 各 位

公益社団法人 日本介護福祉士会
日本介護学会事務局

第24回 日本介護学会 in えひめ 分科会発表者募集について（ご案内）

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。平素より介護福祉士会活動及び介護学会へのご理解・ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、令和8年12月11日（金）・12日（土）の両日、愛媛県県民文化会館（松山市）にて「第33回日本介護福祉士会全国大会・第24回日本介護学会 in えひめ」を開催いたします。

本大会のテーマは「多様なニーズに応える介護福祉士の専門性～私を支えるあなたがいる～」のもと、日本介護学会では分科会における研究発表を広く募集いたします。

会員の皆様において日頃の実践や取り組みを研究として発表いただける方がいらっしゃいましたら、ぜひご応募くださいますようお願い申し上げます。

つきましては、別添の募集要項をご確認のうえ、期日までにお申込みいただきますようお願い申し上げます。

記

大会名称	第33回日本介護福祉士会全国大会・第24回日本介護学会 in えひめ
開催日時	令和8年12月11日（金）～12日（土）
会場	愛媛県県民文化会館（松山市）
申込期間	令和8年5月1日（金）～6月30日（火）
採否通知	令和8年8月頃（予定）
申込・問合せ先	gakujutsu@jaccw.or.jp （日本介護学会事務局）

■ 募集する発表テーマ（分科会）

- ・①共生（地域包括ケア・連携・認知症・障害・災害など）
- ・②生産性向上（介護テクノロジー・業務改善・人材定着など）
- ・③職場づくり（チームワーク・人材育成・働き方・外国人材など）

■ 申込要件

- ・発表者は日本介護福祉士会会員または日本介護学会会員であることが条件です。
- ・非会員の方は、申込前に入会手続きをお済ませください。
- ・発表者は別途、大会への参加申込が必須です。
- ・関係書類は右記 URL よりダウンロード可能です。<https://www.jaccw.or.jp/projects/program>

■ 提出書類（別添）

- ・研究発表申込書
- ・共同研究者登録書（共同研究者がいる場合）
- ・抄録（所定テンプレート使用、A4用紙2枚）

募集要項
第 33 回日本介護福祉士会全国大会・第 24 回日本介護学会 in えひめ
分科会発表

令和8年12月11日(金)～12日(土)に愛媛県県民文化会館(松山市)にて「第33回日本介護福祉士会 全国大会・第 24 回日本介護学会 in えひめ」を開催します。本大会のテーマは「多様なニーズに応える介護福祉士の専門性～私を支えるあなたがいる～」です。今回、日本介護学会分科会の研究発表を募集いたします。

研究発表の申込につきましては下記をご確認いただき、期日までにお申込ください。

<分科会発表>	
募集する分科会 研究発表テーマ	<ul style="list-style-type: none"> ①共生(地域包括ケア・連携・認知症・障害・災害など) ②生産性向上(介護テクノロジー・業務改善・人材定着など) ③職場づくり(チームワーク・人材育成・働き方・外国人材など)
申込要件 (申込及び発表者)	<p>申込および発表者は、日本介護福祉士会会員または日本介護学会会員に限ります。(要件を満たさない場合は、申請を受理できませんのでご注意ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発表者は全国大会・日本介護学会の参加申込が必須です。別途必ず参加申込を行って下さい。 ・非会員の方は、発表申込までに入会手続きをお願いします。(介護福祉士国家資格を有する方は日本介護福祉士会へ、介護福祉士国家資格を有さない方は日本介護学会への入会手続きを完了してください。) <p>入会に関するお問い合わせ先 E-mail: webmaster@jaccw.or.jp)</p>
共同研究者	<p>共同研究者は、以下の条件を満たしていることが条件です。(満たさない場合は、申請を受理できませんのでご注意ください。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ①介護福祉士国家資格を有する方は、日本介護福祉士会会員であること。 ②日本介護学会会員であること。 ③上記以外の方は研究発表者、共同研究者を合わせた人数の半数未満までであること。(非会員が半数を超えることはできません)
申込数	<p>1人1発表</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分科会発表とポスター発表を同時に申し込むことはできません。 ・共同研究者としての参加は重複しても構いません。 ・他学会等での発表済みのものと同じ内容の発表はご遠慮願います。
発表時間	発表8分程度、質疑8分程度(予定)
申込方法	「日本介護学会 研究発表に際しての留意事項」を必ず確認の上、必要書類を全て揃えて受付期間内にメールにて提出してください。(これ以外の方

	<p>法による申込み及び受付期間外の申込みは受理いたしませんので、予めご了承ください。）</p> <p>①研究発表申込書（複数人で発表される場合、代表者のみ記入ください。連絡は発表申込書に記載されている方にさせていただきます。）</p> <p>②共同研究者登録書</p> <p>③抄録</p> <p>※様式はいずれも本会ホームページよりダウンロードしてください。</p>
申込先	<p>公益社団法人日本介護福祉士会 全国大会・学会事務局</p> <p>E-mail: gakujuitsu@jaccw.or.jp</p> <p>※申込後、書類受取のメールを一週間程度でお送りします。</p>
申込受付期間	令和8年5月1日（金）～6月30日（火）
採否	<ul style="list-style-type: none"> ・査読委員によって、申込数や抄録の内容を査読し、採否を決定します。 ・発表は実践に基づく研究を優先させていただきます。 ・結果は申込された方、全員に通知します。
採用数	各分科会6本程度
採否通知	<p>令和8年8月頃（予定）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・申込者（代表者）に採否を通知します。 ・採用された方は、必要がある場合は査読コメントに基づいて抄録を修正してください。査読コメント以外の大幅な加筆修正は認められません。
分科会発表	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された抄録は大会冊子（抄録集）の原稿となります。原稿全体を統一するため、提出された原稿に事務局で若干の修正を加える場合があります。あらかじめご承知おきください。 ・発表用資料（パワーポイントデータ）などの事前提出、当日スケジュール等については、発表が決まった方に別途お知らせいたします。 ・発表用資料は全国大会・介護学会の2週間ほど前に提出いただき、当日は事務局で用意したパソコンを使用して発表していただきます。 ・事務局で準備・配布する資料は、大会冊子（抄録集）のみとさせていただきます。追加資料の配布は一切いたしません。当日配布する資料がある場合は、各自でご用意ください。（全国大会会場での印刷はできません。また全国大会・学会事務局でのコピー等の対応はいたしかねます。）

※ポスター発表につきましては、日本介護学会事務局までメールにてお問い合わせください。

【問い合わせ先】

公益社団法人日本介護福祉士会 日本介護学会事務局
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-13 小野水道橋ビル5階
TEL:03-5615-9295 E-mail: gakujuitsu@jaccw.or.jp

【 日本介護学会 研究発表に際しての留意事項 】

- 研究発表者は、日本介護福祉士会または日本介護学会会員であることが条件です。非会員の方は、入会の手続きをお願いいたします。(日本介護福祉士会会員の方は、自動的に日本介護学会会員となります。介護福祉士資格を有する方は、研究発表申込までに日本介護福祉士会への入会手続きを完了してください。また介護福祉士資格を有さない方は、研究発表申込までに日本介護学会への入会手続きを完了してください。)
- 共同研究者は、以下の条件を満たしていることが条件です。
 - ①介護福祉士国家資格を有する方は、日本介護福祉士会会員であること
 - ②日本介護学会員であること
 - ③上記以外の方は研究発表者、共同研究者を合わせた人数の半数未満(例:人数が6名の場合、2名)までであること(非会員が半数を超えることはできません)
- 発表者は「日本介護福祉士会全国大会・日本介護学会」の大会参加申込が必須です。別途必ず参加申込を行って下さい。
- 共同研究者がいる場合、代表者のみ「研究発表申込書」をご記入いただき、その他の方は「共同研究者登録書」をご提出ください。(連絡は発表申込書に記載されている方にさせていただきます。)
- 当日の登壇は2名までとなります。3名以上の登壇は認められません。
- 発表を希望する分科会は、要項記載のものから選択し、申込書に必ず明記して下さい。(※テーマは未発表のものに限ります)
- 採用後、事務局の指定する期限を過ぎた後の、抄録及び発表用資料の訂正、修正等是对応出来ませんので予めご了承ください。
- 抄録は所定のテンプレートを必ず使用して、A4用紙2枚にまとめてください。テンプレートは日本介護福祉士会ホームページ(<https://www.jaccw.or.jp/>)からダウンロードしてください。
- 研究発表の際に使用される動画及び資料等は、日本介護学会に帰属するものとします。
- 発表の採否は、複数の査読委員によって、投稿された抄録の内容を介護学会に相応しい内容かを査読して判断し、結果は選考のうえ通知いたします。採用された方は発表用の資料(パワーポイントデータなど)のご準備をお願いします。
- 発表は実践に基づく研究を優先させていただきます。
- 事例など使用する際は、個人情報保護及び倫理上の問題を事前に解決しておいてください。これらの問題に関して、当学会は一切の責を負いません。
- ご応募いただいた方は、上記すべての項目に同意されたものとみなします。

※詳細、ご不明な点は日本介護福祉士会 日本介護学会事務局までお問い合わせ下さい。
公益社団法人日本介護福祉士会 日本介護学会事務局
〒112-0004 東京都文京区後楽 1-1-13 小野水道橋ビル5階
TEL:03-5615-9295 Email:gakujutsu@jaccw.or.jp

日本介護学会 in えひめ 研究発表申込書

ふりがな	
氏名	
会員番号	
所属する都道府県 介護福祉士会名	
E-mail (必須)	@ (事務局からの連絡はメールとなります。発表申込される方と必ず連絡が取れるメールアドレスをご記入ください。)
携帯電話	
ご自宅住所	〒 TEL :
勤務先	名称 : 所在地 : 〒 TEL :
所属	
研究発表テーマ (あてはまるものに○)	①共生 (地域包括ケア・連携・認知症・障害・災害など) ②生産性向上 (介護テクノロジー・業務改善・人材定着など) ③職場づくり (チームワーク・人材育成・働き方・外国人材など)
研究発表 タイトル	
サブタイトル	
共同研究者 (あてはまるものに○)	1 有 2 無

※事務局記入欄

受付日		備考	
-----	--	----	--

共同研究者登録書

※ 研究発表者は、日本介護福祉士会または日本介護学会会員であることが条件です。

※ 共同研究者は、以下の条件を満たしていることが条件です。

①介護福祉士国家資格を有する方は、日本介護福祉士会会員であること

②日本介護学会員であること

③上記以外の方は研究発表者、共同研究者を合わせた人数の半数未満（例：人数が6名の場合、2名）までであること（非会員が半数を超えることはできません）

※ 登壇は2名までです。

	ふりがな 氏 名	所 属 (勤務先・都道府県介護福祉士会名・研究会名 称等の所属先をご記入下さい)	会員番号 ※非会員の場合は 「非会員」と記入	登壇 ※発表時に登壇す る方は○を記入 (2名まで)
代 表 者 (研究発表申込者)				
共同研究者 1				
共同研究者 2				
共同研究者 3				
共同研究者 4				
共同研究者 5				

日本介護学会抄録テンプレート

—分かりやすい抄録と充実した発表に向けて—

研究者氏名¹，共同研究者氏名²，共同研究者氏名³

- 1) 所属（所属都道府県介護福祉士会） 2) 所属（所属都道府県介護福祉士会）
3) 所属（所属都道府県介護福祉士会）

I. 研究目的

この抄録テンプレートは、介護研究の成果を研究発表会に向けてまとめる際、抄録の形式を統一するために作成したものである。

基本的に、このテンプレートの書式を変更せず、各グループの研究内容にあわせて、具体的な文章や図表をこの書式に書き込んでいくことにより、統一感のある、高品位な抄録集が作成できることになる。

なお、発表会用抄録の分量は、本形式で2ページとする。したがって、結果や考察の部分については、特に研究目的に直接関わる中心的な内容を整理して紹介するよう工夫することが大切である。

発表会当日は、パワーポイントによるプレゼンテーションが一般的であろうから、その際に提示する図表等を多少追加したり、分かりやすく大きく提示したりするなど工夫を凝らすにしても、基本的には、この抄録における内容を中心に発表することで、研究論文の基本構成¹⁾に沿い、手順や焦点が明確な発表が可能となる。では、以下に各項目において書くべき内容と、その形式を示す。

まず、この項目には、なぜこの研究に取り組んだのかという研究の背景や問題意識、この研究で明らかにしようとしていることを述べる。今回の研究における「仮説」についてもここに書くこと。

II. 研究方法

研究方法の記入例は以下の通り。質問紙調査とインタビューを組み合わせた場合などは、それぞれについて書くこと。

1. 対象

2008年12月時点で、A介護老人保健施設の全職員150名を対象とし、回収数は120票(回収率80.0%)であった。

2. 調査方法

留置法による自記式質問紙調査

3. 調査実施期間

年 月 日～月 日

4. 主な調査内容

職員の経験年数や資格等の基本属性に加え、介護事故の未然防止対策の取り組み状況、ヒヤリ・ハット研修の参加状況、介護事故発生時の対応など20項目について調査を実施した。

5. 調査に際しての倫理的留意

調査実施に際しては、当該施設の倫理委員会に承認を得るとともに、調査対象者への調査目的の説明を行い協力の同意を得た。調査データの取り扱いに際しては、対象者のプライバシー保護に留意し、データ管理責任者を決めて一元的に管理を行った。

6. 分析方法

職員の経験年数や資格等の基本属性、ヒヤリ・ハット研修の参加状況については単純集計およびクロス集計で示した。研修参加有無と介護事故発生時の対応との結びつきの検討にはカイ二乗検定を用いた。

III. 結果

ここでは、具体的なデータの数値や、統計的検定の結果、インタビュー内容を整理したものなど、あくまで客観的な事実を述べる（考察部分と混同してしまわないように気をつける）。

それぞれの研究内容に応じ、いくつかの小項目に分けて、箇条書きなどにより明確に記述すること。項目ごとに、必要に応じて表やグラフなどを提示すること。ただし、どのような表やグラフを示すのが結果を伝える上で効果的か、十分に吟味する。

研究目的において提示した仮説に対して、何らかの答となるデータが提示できているか確認しながら書くことが大切。

表1 職業的地位に関する判別分析の結果

標準化された 正準判別関数係数

性別	0.046
介護職経験年数	0.870 **
現在の勤務先勤務年数	0.185 **
介護福祉士資格	-0.029

**p<.01

上のように表の場合は、表の通し番号とタイトルを表の上側に、図（グラフなど）の場合は、下側に書く。図表は下のグラフのように文字のサイズ等、あまりにも見づらくなってしまうように工夫する。

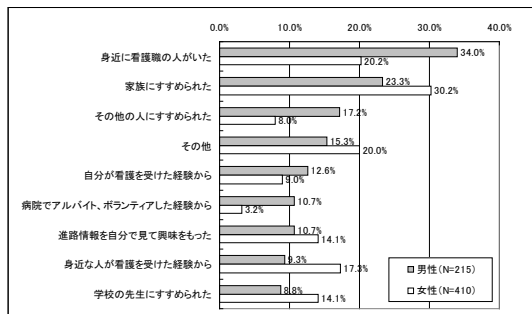


図1 看護系学校への進学のかきかけ

IV. 考察

ここでは、結果を分析し、明らかになったことがらがあるのかを意味しているのか、自分たちなりに考えて述べる。考察で述べられる内容は、あくまで結果の部分で示されたデータに根拠づけられたものであること。

また、残された問題点や疑問点も検討し、今後の研究の発展のための手掛かりも明らかにしておく。

V. 結論

結果と考察を通して、結局、本研究で明らかになったことが何であるのかを簡潔に総括する。

謝辞

本研究にあたり御協力くださった〇〇に感謝いたします。というふうに、研究対象や研究協力をいただいた方々に感謝を述べる。

引用・参考文献

- 1) 矢原隆行 (2010) 『よくわかる介護福祉研究入門—現場の気づきから課題解決、成果の共有、そして社会発信へ—』 保育社.

上記のように、本文中で引用した文献や特に参考にした文献を掲載順にあげる。引用箇所には¹⁾のように引用注を付けておくこと。

文献の書き方は、書籍であれば、上のように、著者、刊行年、書籍名、出版社。

雑誌論文であれば、次のように、著者、刊行年、論文タイトル、雑誌名、巻号、ページ数。

- 2) 矢原隆行 (2002) 「男性看護職をめぐる課題と戦略——その隘路と可能性について」『看護学雑誌』 66 (11) : 1006-1011.

調査報告書であれば、次のように、著者、刊行年、報告書名。

- 3) 日本看護協会出版会 (1999) 『平成 11 年看護関係統計資料集』.

インターネット上の統計資料などを使った場合は、次のように、著者、発表年、資料タイトル、および、アドレスと確認した年月日。

- 5) 厚生労働省 (2006) 「平成 17 年賃金構造基本統計調査」
(http://www.dbtk.mhlw.go.jp/toukei/kouhyo/index_k-roudou.html#rou4, 2008.9.29)

以上の形式と内容を踏まえて、ぜひ充実した抄録を作成し、研究発表に向けて頑張ってください。